

ふるさと型リゾートの形態についての研究

京都大学工学部 正 員 佐佐木 綱

京都大学工学部 正 員 秋山 孝正

京都大学工学部 学生員 ○丸岡 稔和

1. はじめに

開発形式の画一化と経済効率優先の原則によって、現行のリゾート計画は必ずしも、国民全体の有効な余暇生活を保証するものとはいえない。本研究では、まず欧米と異なった風土を持つわが国に望まれるリゾート形態について考察し、典型的一形態として「ふるさと型リゾート」の理念とその基本とする考え方を述べる。さらにふるさと型リゾートの形態を明確にするため、構成施設及び開発指針の整理という点から検討を行う。

2. ふるさと型リゾートの理念

「ふるさと型リゾート」は人口の大都市集中が「故郷を持たない人々」を必然的に増加させることから、年齢と共に生じる「帰巢本能」（故郷を求める意識）への対応を考慮したものである。このとき重要な点は、気心のあった人たちが一緒に住むことのできる仕掛けが必要で、地元の人達との交流が不可欠である。また最近のように、都会での生活に適さない子供達の田舎への内地留学がはやってくると、このような子供を受け入れた地域は将来の「故郷対象地域」として有望であり、その意味で「学習型リゾート」ともいえる。

表1に「ふるさと型リゾート」具体化のための基本的要件をまとめてみた。

表1 具体化のための基本的要件

項 目	基本的要件および計画上の留意点
目 的	- 都市住民への「ふるさと」の提供 - 自然のなかでの活動と自己実現 - 都市生活の見直しと活力の回復
地域性	- 地域の文化、歴史に関連した休養地となること。（「ふるさと」地域としてのアイデンティティの形成） - 地域との人的交流を中心とすること。（コミュニティの形成） - 自然環境を有効利用すること。（農園、河川、山岳等）
利用形態	- 地域に根ざした日常的生活があること。 - 子供づれで行くことが可能な地域。 - 地理的にも中期的滞在が可能となること。 - 特化した機能（スポーツ）を意図するものではない。

3. ふるさと型リゾートの施設形態の把握

「ふるさと型リゾート」の形態を具体化するために、まず既存のリゾート計画がいかなる類型に分類できるかを議論する。リゾート開発は自然資源、地域文化の有効利用に加えて、建設施設の内容が基本的な機能を具現化すると考えられることから、既存リゾート開発計画における施設群を抽出し、施設構成によるパターン分析を行う。

(1) 分析方法

対象データとしては資料¹⁾「わが国のリゾート関連プロジェクト」全646サンプル中から構成施設が3つ以上で、具体的施設名を持つもの75個をランダム抽出した。これらのデータに対して数量化Ⅲ類を用いたパターン分析を行った。カテゴリー変量はリゾート活動を機能的に直接反映すると考えられる施設32種を用いた。

(2) 分析結果

図1のようにまずカテゴリーの散布図によって各軸の意味を読み取り、リゾート計画の散布状況、傾向を把握することができる。

この分析の結果、評価基準要因軸として

第Ⅰ軸：活動性レベル（動的な活動—静的な活動）

第Ⅱ軸：地理的分布（臨海型—山岳型）

第Ⅲ軸：自然接近度（人工的—自然的）

などが得られた。また全体の傾向としては図2からわかるようにスポーツ志向あるいは若年層志向のきわめて画一的な形態であることが分かる。原点から離れてプロットされるリゾート計画はかなり特有の理念に基づいて形成されているとみなすことができる。ふるさと型リゾート形態を考えるうえでも、これらは既存リゾートの補完として有効な形態となる可能性を持つと考えられる。

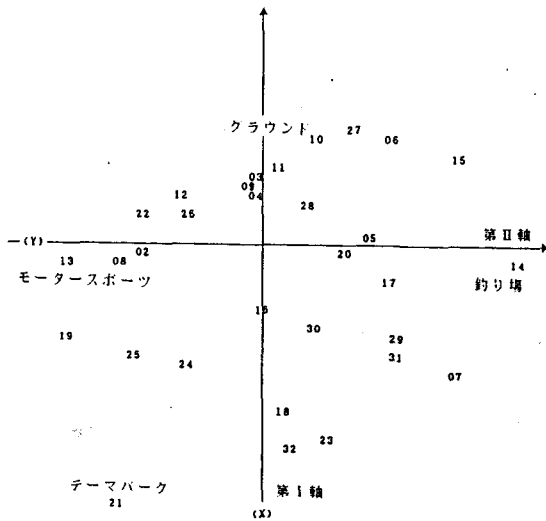


図1 カテゴリー散布図

4. ふるさと型リゾート構成について

ここでは「ふるさと型リゾート」の現象論的な側面に対して、価値論的な表現を行う。「ふるさと」の実現を構成論的に述べるための技法として、マンダラの機能論を用いた。具体的には、機能的分類に有効な金剛界マンダラを用いた。活きた「リゾート開発」としての基本施設を密教原理にアナロジーさせて表2のように整理した。

5. おわりに

現代は価値観が多用化し、経済的視点など唯一絶対の座標軸では規定しにくい時代である。物質的發展のみに熱中して、心の自由性が希薄となった時代である。その意味では、リゾート計画にあっても地域社会における「ふるさと」の意味を明確に再評価して新しい価値を見だし、これらがもつ歴史的事実と文化遺産がもつ価値を実感をもって追体験できる場として構成することが肝要であろう。

<参考文献>

1) 大八木智一：リゾート事業戦略，

三菱総合研究所

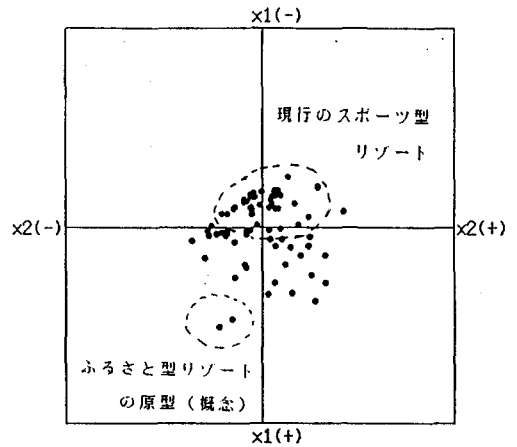


図2 リゾート散布図

表2 金剛界マンダラによるリゾート施設分類表

	阿しゆく	宝 生	阿弥陀	不空成就
方 位	東	南	西	北
色 彩	青	黄	赤	緑
五 大	水	地	火	風
形 態	丸	正方形	三角形	半円
動 物	象	馬	孔雀	金翅鳥
属 性	調伏・力 忿怒・降魔・勇気 太陽の上昇	財福 豊かさ エネルギーの放出	知恵 愛情・情熱 観察・静寂	作用 行動力 意思表示
原 理	内省的 垂直軸	外的 水平軸	内省的 垂直軸	外的 水平軸
キーワード	自然への活動	積極的活動	地域との関係	精神的充実
活動内容	自然への回帰 自然力の認識	文化的・精神的 教養・知識	定住・地域活動 歴史・風土	自然との融合 自己実現
施設例	河川・湖沼など 釣り場、ボート 田園学校	演劇場、研修場 スポーツ施設 地域産業センター	民宿・別荘 歴史資料館 郷土料理店	散策コース 交通施設 野営場
配置主旨	・水関係施設 ・自然資源利用 ・教育施設	・自己研修 ・スポーツ ・経済活動	・憩業の場 ・地域交流の場 ・風土の利用	・森林利用 ・活力の回復 ・自然との一体

—— 上部：密教原理，下部：「ふるさと型」リゾートでの対比